

ブレインバンクに献体をご了承頂いたご家族皆様へ
(研究に関する情報)

当院ならびに関連施設では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究への協力を希望されない場合は、下記に記載されている研究の担当者までお知らせください。なお、研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはありません。

研究課題名	脳内に潜む不顕性感病原体の解析 (福祉村病院倫理委員会承認番号#421)
当院の研究責任者	医療法人さわらび会福祉村病院 長寿医学研究所・神経病理研究所 赤津 裕泰(名古屋市立大学大学院医学研究科 教授)
他の研究機関および各施設の研究責任者	名市大 地域医療教育学 研究員 ベルニエフランソワ 同 主任教授 大原弘隆 福祉村病院神経病理研究所 所長 橋詰良夫：サンプル採取・病理診断 副所長 金田大太：サンプル採取・病理診断 (研究員 赤津裕康) 立命館大学薬学部 教授 井之上浩一：質量分析 大学院生 六車宜央：質量分析 自治医科大学 講師 間辺利江：データ処理、統計解析
本研究の目的	神経変性疾患において蓄積するリン酸化異常蛋白の発生、蓄積機序は不明な点が多い。その1つの要因として外的生物学的圧力、即ち不顕性感染をお紺している病原体に起源を発する可能性は完全に払しょくできていない。 この点に注目し、ウイルス、細菌、真菌などの遺伝子、代謝産物などの検出を試み病因との関係性を観て行きたい。
対象者該当期間	福祉村ブレインバンクに保管されている全症例。
研究の方法	固定組織は従来の染色法に加え、ターゲット因子などが判明すれば免疫染色なども行う。 凍結組織、体液に関しては従来の生化学、分枝生物学的解析に加え、質量分析を用いてメタボローム解析、次世代シーケンサーを用いての網羅的細菌遺伝子解析を行う。
個人情報の取扱い	個人情報（特に遺伝子情報）が漏洩した場合、遺族が不利益を被る恐れがある。これらの情報が漏洩しないように徹底した個人情報の保護は本院個人情報管理者に任せる。死後の解剖症例であるため利益・不利益ともに発生しない。
お問い合わせ先	名古屋市立大学大学院 医学研究科 地域医療教育学(秘書宛) 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

	TEL 052-853-8527 (内線 8527)
備考	